

2022年第28週(7月11日~7月17日)

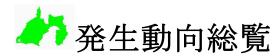
Infectious Diseases Weekly Report Shizuoka

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 感染症発生動向調査 感染症週報

静岡県環境衛生科学研究所感染症情報センター/静岡県健康福祉部感染症対策課

目次

*	発生動向総覧	P 1 ∼ 2
*	感染症発生動向警報システムによる保健所 の警報状況	Р3
*	指定届出機関からの特記事項欄コメント	Р3
*	全数把握感染症集計表	P 4
*	定点把握感染症集計表	P 5 ∼ 9
*	定点把握感染症推移グラフ	P 1 0 ~ 1 4
*	定点把握感染症集計表(月報)	P 1 5~18
*	定点把握感染症推移グラフ(月報)	P 1 9~2 0
*	新型コロナウイルスのPCR検査等の状況	P 2 1
*	南半球オーストラリアの季節性インフルエ ンザの流行状況	P 2 2
*	日本の季節性インフルエンザの流行状況	P 2 3



《第28週コメント》7月21日集計分

手足口病が 184 名で増加傾向 (第 26 週 (58 名)、第 27 週 (113 名))。 ヘルパンギーナが 119 名で増加傾向 (第 26 週 (41 名)、第 27 週 (68 名))

◆全数届出の感染症

- 1類感染症 報告なし
- **2類感染症** 結核 (静岡市 (1)、中部 (2))
- 3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 (静岡市 (1)、西部 (2)、浜松市 (1))
- 4類感染症 レジオネラ症 (富士 (1))
- 5類感染症 アメーバ赤痢 (浜松市(1))、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (中部 (1))、水痘 (西部 (1))、梅毒 (東部 (1)、浜松市 (2))

新型インフルエンザ等感染症

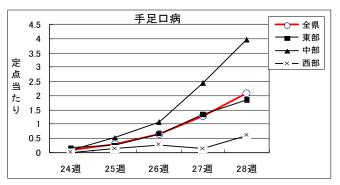
新型コロナウイルス(賀茂(190)、熱海(341)、東部(2,146)、御殿場 (370)、富士(842)、静岡市(4,110)、中部(1,184)、西部(1,197)、 浜松市(3,903))

◆定点把握の対象となる5類感染症(週報対象のもの)

環境衛生科学研究所 感染症情報センター 令和4年第28週(7/11~7/17)の動向

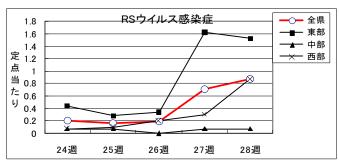
手足口病

全県で罹患数184、定点当たり2.07の患者発生あり、県下すべての地区で前週から増加。特に中部地区で大幅に増加。東部地区で定点当たり1.84、中部地区で定点当たり3.96、西部地区で定点当たり0.60の患者発生報告。24週以降流行が継続していることが示唆される。



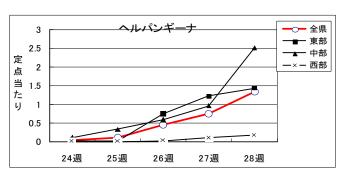
RSウイルス感染症

全県で罹患数77、定点当たり 0.87の患者発生あり、県全体で は前週から増加しているが、増 加は西部地区のみ。東部地区 で定点当たり1.53、中部地区で 定点当たり0.07、西部地区で 定当たり0.87の患者発生あり。 西部地区での地域流行が継続 の可能性、東部地区の流行が 終息の兆しかは今後の動向に 注視。



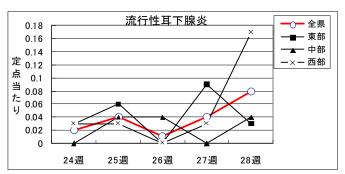
ヘルパンギーナ

全県で罹患数119、定点当たり 1.34の患者発生あり、県下全域 で25週より増加傾向が続く。特 に中部地区での増加が顕著。東 部地区で定点当たり1.44、中部 地区で定点当たり2.52の、西部 地区で定点当たり0.17の患者発 生あり。県下全域で流行期継続 が示唆。



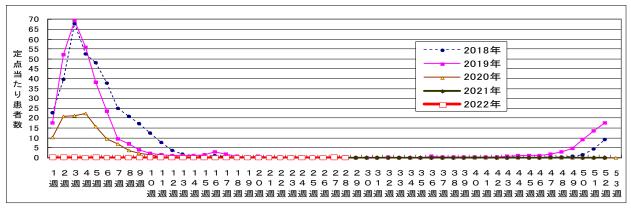
流行性耳下腺炎

全県で罹患数7、定点当たり 0.08の患者発生あり。前週より 東部地区のみが減少、県全体 では増加。西部地区での増加が 顕著。東部地区で定点当たり 0.03、中部地区で0.04、西部地 区で0.17の患者発生あり。西部 地区では26週から流行期が継 続していることが示唆される。



- ・風疹、麻しんとも全県で発生なし。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は県下全地区でほぼ横ばい。東部地区で定点当たり0.16、中部地区で定点当たり0.22、西部地区で定点あたり0.27の患者発生あり。流行終息の兆しか今後の動向注視。
- ・伝染性紅斑の発生は西部地区のみで、定点当たり0.03の患者発生あり。東部及び中部地区での発生はなし、流行終息の兆しか、今後に注視。西部地区での地域的流行の可能性が考えられる。
- ・咽頭結膜熱は西部地区のみ増加。東部地区で定点当たり0.25、中部地区で0.04、西部地区で0.83の患者発生あり。西部地区の地域的流行が示唆される。

インフルエンザ罹患数推移】



【梅毒の発生状況】

*28 週は前週より3件の増加、全国も同様の増加傾向。感染の歯止めかからず。

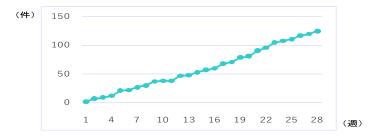


図3 静岡県の令和4年28週までの届け出患者数の推移(累計)

【バンコマイシン耐性腸球菌(VRED)の発生状況】

・28週までに14件の届け出、前週からの増加はなし。統計では探知できない無症候性感染者の増加が懸念される。



図 静岡県の令和4年28週までの届け出件数の推移(累計)

◆感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況

警 報 手足口病(富士) 注意報 なし



指定届出機関からの特記事項欄コメント

感染症第28週(7月11日~7月17日)

<u>光ヶ丘小児科(三島市)</u>「ヒトメタニューモウイルス 12名」 田子浦クリニック (富士市)「アデノウイルス咽頭炎 1名」 <u>かわしりこどもクリニック小児科(榛原郡吉田町)</u>「ヒトメタニューモウイルス 2名」 クリニックパパ (浜松市)「ヒトメタニューモウイルス 13名」 幸田子供クリニック (浜松市)「ヒトメタニューモウイルス 2名 (1名 (6ヵ月女児)、 1名 (5歳女児)」

天竜こどもクリニック (浜松市) 「水痘 1名 (3歳男児)」

- 静岡県の感染症週報は、組織改編に伴い感染症対策課において作成しています。
- ・ 引き続き、疾病対策課ホームページにより御覧いただけます。 http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-420a/center.html

								2	022年	28	週	
疾患名				静岡県						全国		
疾患名 エボラ出血熱	23週	24週	25週	26週	27週	今週	年累計	25週	26週	27週	今週	年累計
エホフロ皿器 クリミア・コンゴ出血熱				+								
痘そう												
南米出血熱												
ペスト				-								
マールブルグ病 ラッサ熱				_				-				
急性灰白髓炎												
結核	8	5	8	6	3	3	183	268	220	209	201	7,845
ジフテリア												
重症急性呼吸器症候群(SARS)				-								
中東呼吸器症候群(MERS) 鳥インフルエンザH5N1				-								
鳥インフルエンザH7N9				<u> </u>								
新型コロナウイルス	2,143	1,644	1,752	2,529	6,066	14,283	174,190	102,766	136,357	320,678	508,193	8,470,551
コレラ												
細菌性赤痢		_		-			1	1	07	1	440	13
陽管出血性大陽菌感染症 陽チフス	1	2		2		4	16	80	87 1	88	110	1,154
パラチフス								1	<u>'</u>		2	5
E型肝炎				1			1	8	5	3	4	236
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)												
A型肝炎	1		-				1	2		-	1	45
エキノコックス症 巻数	-	-	-	-				1	-			14
オウム病			 	+				 			1	5
オムスク出血熱												
回帰熱									1			7
キャサヌル森林病												
Q熟			-	-								
狂犬病 コクシジオイデス症			-	1								
サル痘			<u> </u>	1								
ジカウイルス感染症												
重症熱性血小板減少症候群			1	1	1		5	5	5	2	3	73
腎症候性出血熱												
西部ウマ脳炎				1								
ダニ媒介脳炎 炭疽				1								
チクングニア熱				1			1	1	3			4
つつが虫病				 ' 			1	1	3	1		95
デング熱							1	1	2	2		19
東部ウマ脳炎												
鳥インフルエンザ												
ニパウイルス感染症	-			-				4.4	-	-	10	150
日本紅斑熱日本脳炎	1	1					2	11	7	7	10	152 1
ハンタウイルス肺症候群												
Bウイルス病												
鼻疽												
ブルセラ症												
ベネズエラウマ脳炎				-								
ヘンドラウイルス感染症 発しんチフス												
ポツリヌス症												1
マラリア										1		10
野兎病												
ライム病			-	1				1				3
リッサウイルス 感染症 リフトバレー熱		-	-	-								
知鼻疽			 	+								1
レジオネラ症		1	2	2		1	28	48	76	47	33	958
レプトスピラ症												3
ロッキー山紅斑熱												
アメーバ赤痢			-	-		1	6	6	9	6	6	274
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く) カルパペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		2	1	+			18	3 29	22	3 15	19	112 866
カルハヘイム前性勝内和固科和國際栄証 急性弛緩性麻痺			- '-	<u> </u>			18	23		13	19	12
急性脳炎(ウェストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)		1					6	5	2	3	3	158
クリプトスポリジウム症								2				6
クロイツフェルト・ヤコブ病			<u> </u>				3	1	2	3	1	95
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 第三性免疫素の主体器	1	1	1			1	7	9	9	8	10	400
後天性免疫不全症候群 ジアルジア症		1	_	1			7	17	12 4	12	9	479 20
マアルシア症 優襲性インフルエンザ菌感染症				<u> </u>			3	3	2		1	94
侵襲性髄膜炎菌感染症								Ľ				4
侵襲性肺炎球菌感染症				1			22	18	18	11	7	680
水痘(入院例に限る)						1	7	4	1	6	4	176
先天性風しん症候群	-		-				4					
梅毒	6	1	2	4	1	3	125	136	178	174	141	6,106
播種性クリプトコックス症		 	 	+	-		2	1	3	3	3	78 47
初 復											3	
破傷風 パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				1			14		5	3	1	83
破傷風 パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 パンコマイシン耐性腸球菌感染症		1						I	0	S		
パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1					2	8	6	6	3	279
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 パンコマイシン耐性腸球菌感染症 百日咳 風しん		1						8				279 4
パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌療染症 パンコマイシン耐性腸球菌療染症 百日咳 風しん 麻しん		1							6	6		279 4 1
パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 パンコマイシン耐性腸球菌感染症 百日咳 風しん		1							6	6		279 4

[※]医療機関から届出の追加や取り下げがあった場合、増減することがあります。

定点把握感染症集計表(届出数)

2022年 28 週

						2022 + 20 @						
			Ī	静岡県						全国		
	23週	24週	25週	26週	27週	今週	計	25週	26週	27週	今週	計
RSウイルス感染症	7	18	14	17	63	77	196	1,828	2,931	4,738	7,016	16,513
咽頭結膜熱	15	34	38	53	35	34	209	1,339	1,357	1,181	1,064	4,941
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18	11	44	10	20	19	122	1,089	1,030	1,243	1,302	4,664
感染性胃腸炎	380	473	404	441	413	382	2,493	16,675	15,013	14,302	13,086	59,076
水痘	8	5	1	11	3	6	34	260	287	215	241	1,003
手足口病	12	7	26	58	113	184	400	1,881	3,062	4,474	5,787	15,204
伝染性紅斑		2	1	3	1	1	8	45	49	32	39	165
突発性発しん	24	30	34	33	25	34	180	1,265	1,289	1,217	1,145	4,916
ヘルパンギーナ	1	4	10	41	68	119	243	451	764	1,063	1,571	3,849
流行性耳下腺炎	5	2	4	1	4	7	23	114	131	115	110	470
インフルエンザ					1		1	6	12	49	142	209
急性出血性結膜炎								2	6	2	5	15
流行性角結膜炎	4	2	2	3	5	3	19	123	154	165	136	578
クラミジア肺炎(オウム病は除く)												
細菌性髄膜炎			1				1	9	3	4	5	21
マイコプラズマ肺炎	_	_						8	8	10	5	31
無菌性髄膜炎				1			1	12	10	17	11	50
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								1	3	1		5

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病は除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)

[※]小児科定点と内科定点はインフルエンザ定点を兼ねている。

定点把握感染症集計表(定点当り)

2022年 28 週

			静岡	司県	· ·			<u> </u>	国	<u></u>
	第23週	第24週	第25週	第26週	第27週	今週	第25週	第26週	第27週	今週
RSウイルス感染症	0.08	0.20	0.16	0.19	0.71	0.87	0.58	0.93	1.51	2.26
咽頭結膜熱	0.17	0.38	0.43	0.60	0.39	0.38	0.43	0.43	0.38	0.34
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.20	0.12	0.49	0.11	0.22	0.21	0.35	0.33	0.40	0.42
感染性胃腸炎	4.27	5.31	4.54	4.96	4.64	4.29	5.31	4.78	4.55	4.22
水痘	0.09	0.06	0.01	0.12	0.03	0.07	0.08	0.09	0.07	0.08
手足口病	0.13	0.08	0.29	0.65	1.27	2.07	0.60	0.97	1.42	1.87
伝染性紅斑		0.02	0.00	0.03	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01
突発性発しん	0.27	0.34	0.38	0.37	0.28	0.38	0.40	0.41	0.39	0.37
ヘルパンギーナ	0.01	0.04	0.11	0.46	0.76	1.34	0.14	0.24	0.34	0.51
流行性耳下腺炎	0.06	0.02	0.04	0.01	0.04	0.08	0.04	0.04	0.04	0.04
インフルエンザ					0.01				0.01	0.03
急性出血性結膜炎								0.01		0.01
流行性角結膜炎	0.18	0.09	0.09	0.14	0.23	0.14	0.18	0.22	0.24	0.20
クラミジア肺炎(オウム病は除く)										
細菌性髄膜炎			0.10				0.02	0.01	0.01	0.01
マイコプラズマ肺炎							0.02	0.02	0.02	0.01
無菌性髄膜炎				0.10			0.03	0.02	0.04	0.02
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								0.01		

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、 水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、 インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病は除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

[※]小児科定点と内科定点はインフルエンザ定点を兼ねている。



感染症 28 週

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱			A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		胃腸炎	水痘		
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	
総数	77	0.87	34	0.38	19	0.21	382	4.29	6	0.07	
賀茂							3	1.50			
熱海	2	0.50					26	6.50			
東部	43	3.31	4	0.31	2	0.15	34	2.62	2	0.15	
御殿場	4	1.00	4	1.00	1	0.25	26	6.50			
富士					2	0.22	14	1.56			
静岡市	1	0.06	1	0.06	4	0.25	56	3.50			
中部	1	0.09			2	0.18	33	3.00	1	0.09	
西部	4	0.33	21	1.75	1	0.08	78	6.50	1	0.08	
浜松市	22	1.22	4	0.22	7	0.39	112	6.22	2	0.11	

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん			3咳 報告)	ヘルパンギーナ	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	罹患数	定点当り
総数	184	2.07	1	0.01	34	0.38	0	2	119	1.34
賀茂										
熱海										
東部	9	0.69			2	0.15		2	1	0.08
御殿場	2	0.50			2	0.50				
富士	48	5.33			10	1.11			45	5.00
静岡市	59	3.69			4	0.25			13	0.81
中部	48	4.36			7	0.64			55	5.00
西部	11	0.92			2	0.17			5	0.42
浜松市	7	0.39	1	0.06	7	0.39				

保健所名	流行性耳下腺炎		インフルエンザ		麻しん (全数報告)		風 (全数	_ン ん 報告)	指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	週計	累計	小児科	内科
総数	7	0.08	0		0	0	0	0	89	50
賀茂									2	1
熱海									4	2
東部	1	0.08							13	7
御殿場									4	2
富士									9	6
静岡市									16	9
中部	1	0.09							11	6
西部	3	0.25							12	7
浜松市	2	0.11							18	10

^{*}百日咳は、平成30年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更されました。

感染症 28 週

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		細菌性	髄膜炎	マイコプラズマ肺炎		
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	
総数	0		3	0.14	0		0		0		
賀茂											
熱海											
東部											
御殿場											
富士			1	0.33							
静岡市											
中部											
西部			1	0.25							
浜松市			1	0.33	·		·	·			

保健所名	無菌性	髄膜炎	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルス であるものに限る。)				
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り			
総数	0		0				
賀茂			·				
熱海			·				
東部			·				
御殿場							
富士							
静岡市							
中部							
西部							
浜松市							

指定届出機関 (定点)数							
眼科	基幹						
22	7						
_							
_							
4	1						
_							
3	1						
5	2						
3							
4	1						
3	2						

^{*}賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

^{*}御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

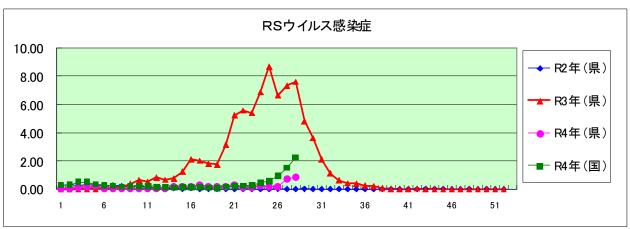
2022年 28 週

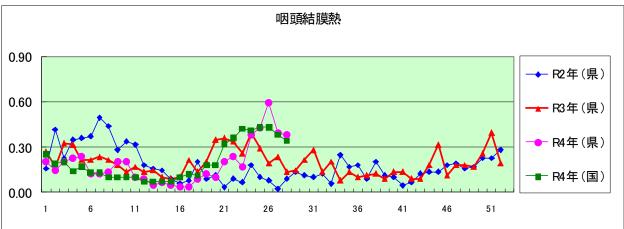
																		20224		旭	
年齡階級区分	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	
"(小児科定点把握感染症分)	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上							
"(眼科定点把握感染症分)	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上		計
"(基幹定点把握分)	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	5	9	25	17	13	5	2	1													77
咽頭結膜熱			19	11	2		1	1													34
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2	1	3		3	1	1	1	1	2	1	3							19
感染性胃腸炎	2	23	74	51	47	42	41	25	19	12	6	26	3	11							382
水檀		1			2	1			1			- 1									6
手足口病	- 1	17	65	53	28	11	4	3			1	1									184
伝染性紅斑									1												1
突発性発しん		6	20	6	1			1													34
ヘルパンギーナ	- 1	5	28	40	19	12	8	4				2									119
流行性耳下腺炎					2			1	2		1			1							7
インフルエンザ															1						1
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎														1	1			1			3
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
細菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎																					
無菌性髄膜炎																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイ ルスであるものに限る。)																					

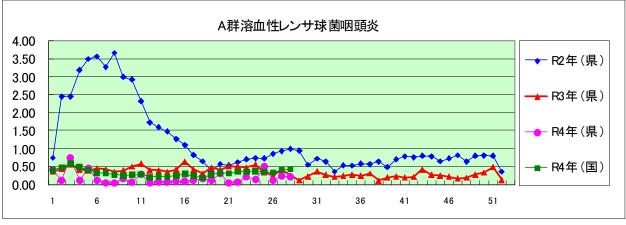
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

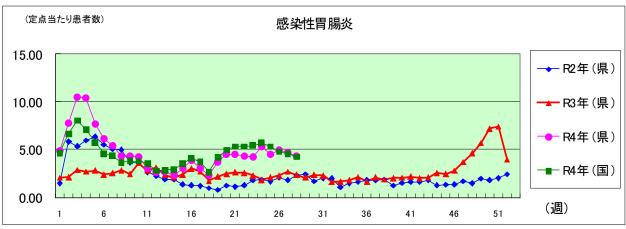
2022年 28 週

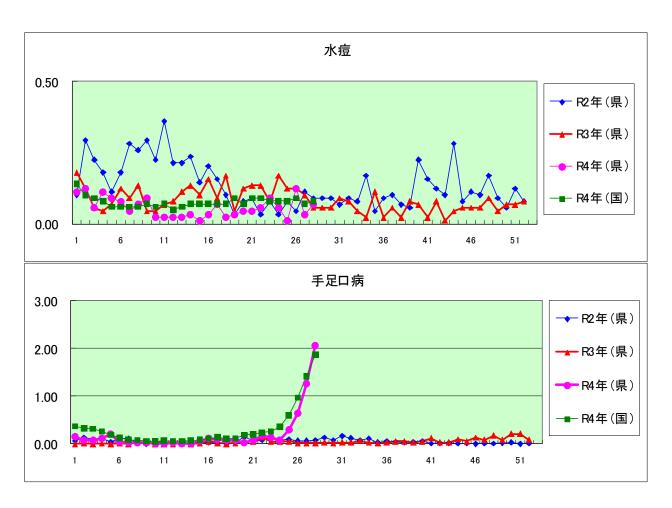
																	- 4	20224	20	旭	
年齢階級区分	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	
"(小児科定点把握感染症分)	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上							
"(眼科定点把握感染症分)	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上		計
"(基幹定点把握分)	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	0.06	0.10	0.28	0.19	0.15	0.06	0.02	0.01													0.87
咽頭結膜熱			0.21	0.12	0.02		0.01	0.01													0.38
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.02	0.01	0.03		0.03	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.03							0.21
感染性胃腸炎	0.02	0.26	0.83	0.57	0.53	0.47	0.46	0.28	0.21	0.13	0.07	0.29	0.03	0.12							4.29
水痘		0.01			0.02	0.01			0.01			0.01									0.07
手足口病	0.01	0.19	0.73	0.60	0.31	0.12	0.04	0.03			0.01	0.01									2.07
伝染性紅斑									0.01												0.01
突発性発しん		0.07	0.22	0.07	0.01			0.01													0.38
ヘルパンギーナ	0.01	0.06	0.31	0.45	0.21	0.13	0.09	0.04				0.02									1.34
流行性耳下腺炎					0.02			0.01	0.02		0.01			0.01							0.08
インフルエンザ															0.01						0.01
急性出血性結膜炎																					
流行性角錯膜炎														0.05	0.05			0.05			0.14
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
細菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎																					
無菌性髄膜炎																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイ ルスであるものに限る。)																					

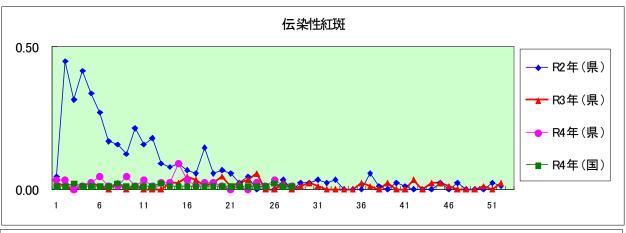


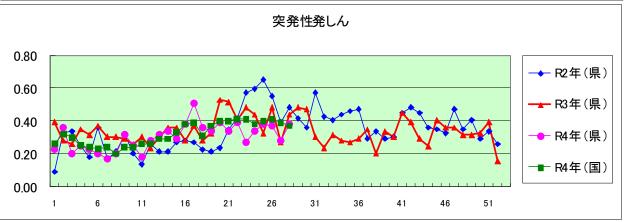


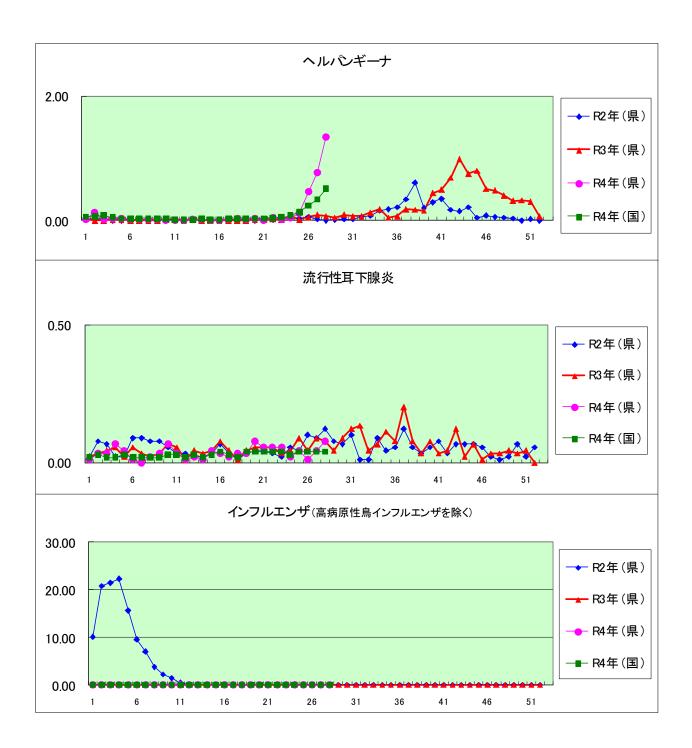


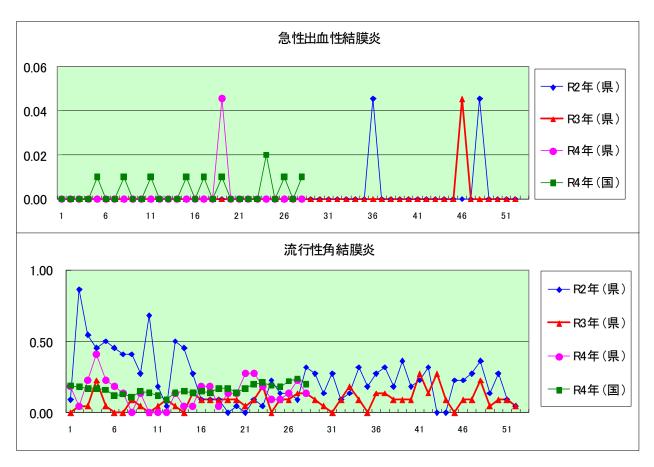


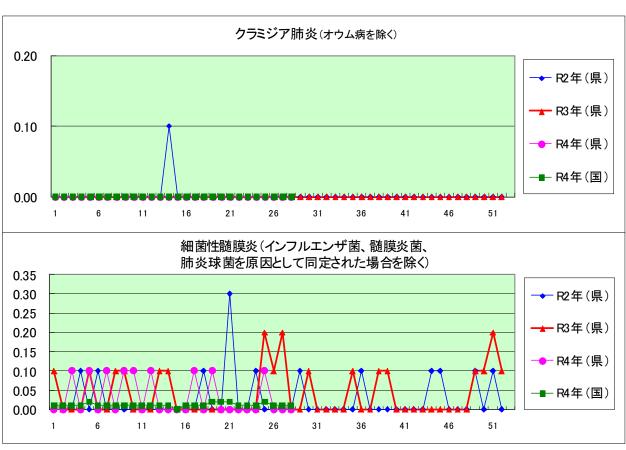


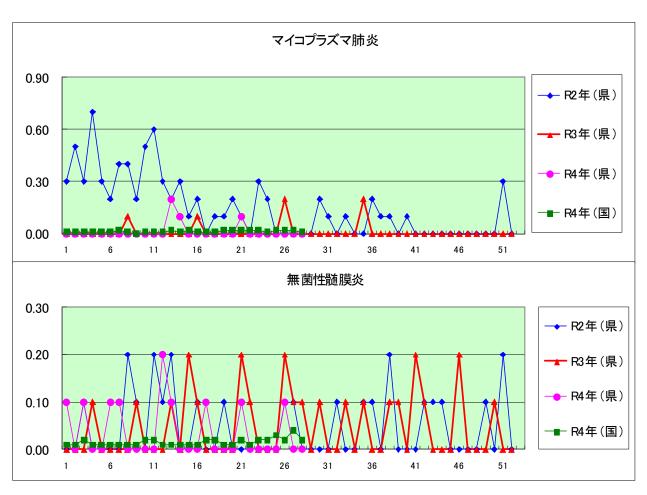


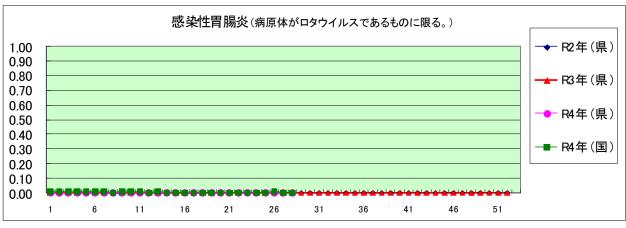












定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	60	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、 突発性発しん、百日咳、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

			Ī	静岡県						全国		
	1月	2月	3月	4月	5月	今月	計	3月	4月	5月	今月	計
性器クラミジア感染症	37	55	54	38	61	58	303	2,461	2,342	2,533	2,779	10,115
性器ヘルペスウイルス感染症	18	13	18	9	20	20	98	710	746	731	811	2,998
尖圭コンジローマ	11	8	5	7	5	8	44	455	456	520	581	2,012
淋菌感染症	19	8	10	5	6	11	59	794	791	833	871	3,289
性器クラミジア感染症(男)	16	20	23	13	19	16	107	1,255	1,185	1,296	1,440	5,176
性器クラミジア感染症(女)	21	35	31	25	42	42	196	1,206	1,157	1,237	1,339	4,939
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	6	3	8		7	7	31	245	291	291	306	1,133
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	12	10	10	9	13	13	67	465	455	440	505	1,865
尖圭コンジローマ(男)	4	5	3		3	2	17	301	293	358	383	1,335
尖圭コンジローマ(女)	7	3	2	7	2	6	27	154	163	162	198	677
淋菌感染症(男)	16	5	7	4	3	8	43	626	613	652	669	2,560
淋菌感染症(女)	3	3	3	1	3	3	16	168	178	181	202	729
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1				1	40	36	61	56	193
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	24	28	33	19	17	10	131	1,228	1,118	1,189	1,232	4,767
薬剤耐性緑膿菌感染症								16	15	16	13	60

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

		/ 1						
保健所名	性器クラミ	ジア感染症	l	スウイルス 幹症	尖圭コン	ジローマ	淋菌原	 感染症
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	58	1.93	20	0.67	8	0.27	11	0.37
賀茂								
熱海	1	1.00						
東部	7	1.40	2	0.40				
御殿場	7	7.00	1	1.00				
富士	10	3.33	3	1.00			4	1.33
静岡市	7	1.17	7	1.17	5	0.83	2	0.33
中部	10	2.50	6	1.50			1	0.25
西部	12	2.40					3	0.60
浜松市	4	0.80	1	0.20	3	0.60	1	0.20

保健所名		リン耐性 菌感染症		リン耐性 球菌感染症	薬剤 緑膿菌	耐性 感染症
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数			18	1.80		
賀茂			2	2.00		
熱海			1	1.00		
東部			1	1.00		
御殿場						
富士						
静岡市			9	4.50		
中部			2	2.00		
西部			2	2.00		
浜松市			1	0.50		

保健所名	定点(指定届	届出機関)数
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂	_	1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	_
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

^{*}薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

			静區	引県	,			全	国	
	1月	2月	3月	4月	5月	今月	3月	4月	5月	今月
性器クラミジア感染症	1.23	1.83	1.80	1.27	2.03	1.93	2.50	2.39	2.58	2.83
性器ヘルペスウイルス感染症	0.60	0.43	0.60	0.30	0.67	0.67	0.72	0.76	0.74	0.83
尖圭コンジローマ	0.37	0.27	0.17	0.23	0.17	0.27	0.46	0.46	0.53	0.59
淋菌感染症	0.63	0.27	0.33	0.17	0.20	0.37	0.81	0.81	0.85	0.89
性器クラミジア感染症(男)	0.53	0.67	0.77	0.43	0.63	0.53	1.28	1.21	1.32	1.47
性器クラミジア感染症(女)	0.70	1.17	1.03	0.83	1.40	1.40	1.23	1.18	1.26	1.36
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.20	0.10	0.27		0.23	0.23	0.25	0.30	0.30	0.31
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.40	0.33	0.33	0.30	0.43	0.43	0.47	0.46	0.45	0.51
尖圭コンジローマ(男)	0.13	0.17	0.10		0.10	0.07	0.31	0.30	0.36	0.39
尖圭コンジローマ(女)	0.23	0.10	0.07	0.23	0.07	0.20	0.16	0.17	0.16	0.20
淋菌感染症(男)	0.53	0.17	0.23	9.00	0.10	0.27	0.64	0.62	0.66	0.68
淋菌感染症(女)	0.10	0.10	0.10	0.03	0.10	0.10	0.17	0.18	0.18	0.21
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			0.10				0.08	0.08	0.13	0.12
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.40	2.80	3.30	1.90	1.70	1.00	2.58	2.34	2.48	2.58
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.03	0.03	0.03	0.03

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

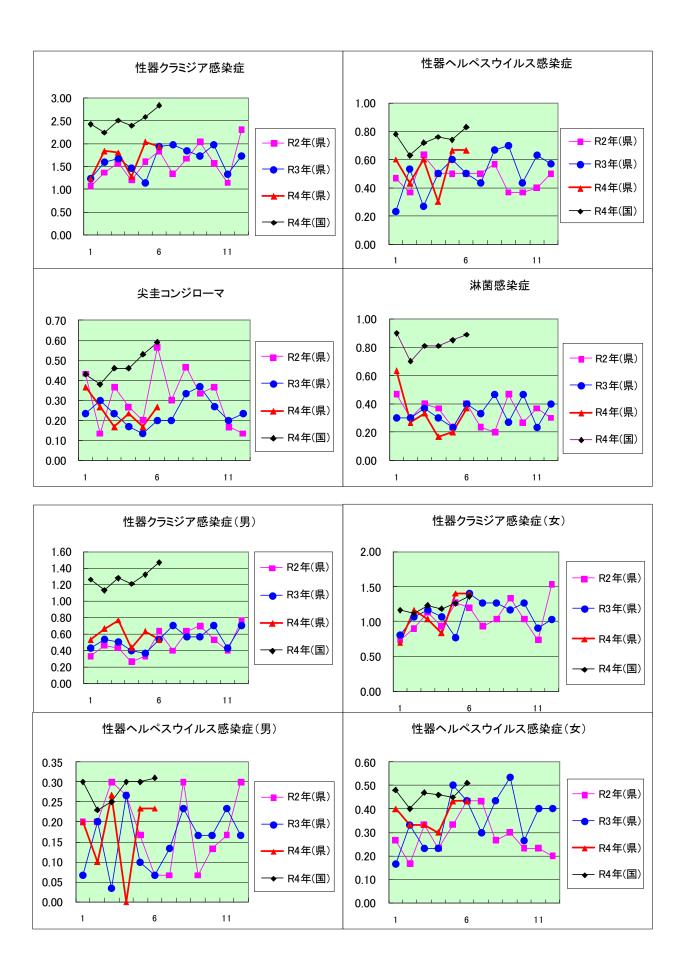
定点把握感染症(月報)年齡階級別集計表(届出数)

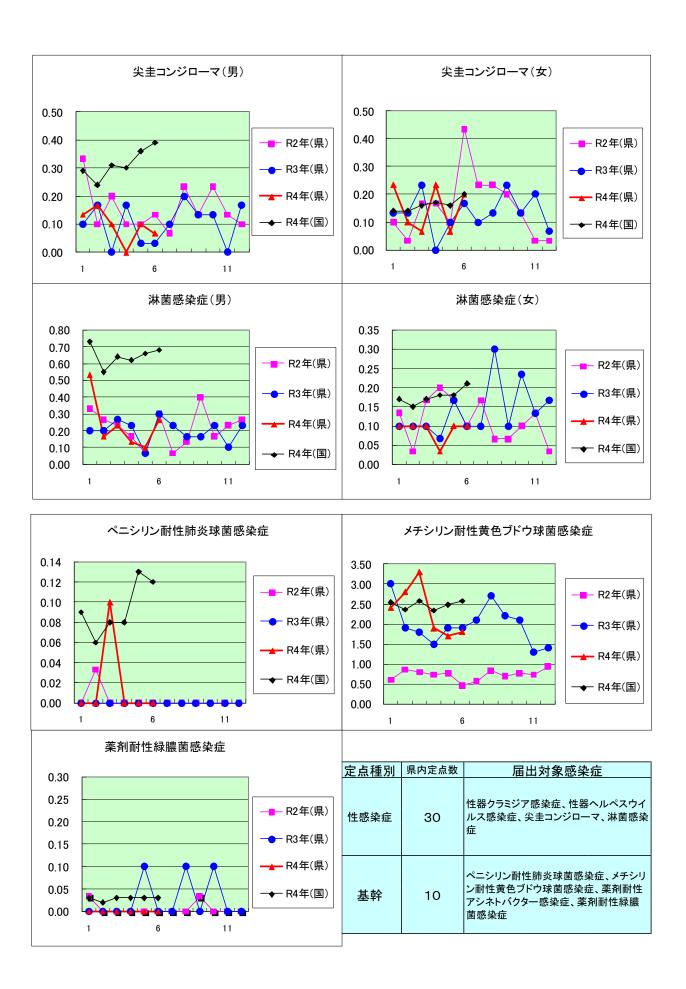
2022年 6 月

年齢階級区分	O歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					1	17	19	12	2	2	2	3					58
性暑ヘルペスウイルス感染症						1	1	5	4		3	3	1	1		1	20
失圭コンジローマ						3	3		1	1							8
淋菌感染症						3	4	1		2		1					11
性器クラミジア感染症(男)						3	5	7		1							16
性器クラミジア感染症(女)					1	14	14	5	2	1	2	3					42
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							1	2	2		2						7
性暑ヘルペスウイルス感染症(女)						1		3	2		1	3	1	1		1	13
尖圭コンジローマ(男)						1	1										2
尖圭コンジローマ(女)						2	2		1	1							6
淋菌感染症(男)						1	3	1		2		1					8
淋菌感染症(女)						2	1										3
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			1			1					1				2	13	18
菜剂耐性鞣酸菌感染症					_												

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

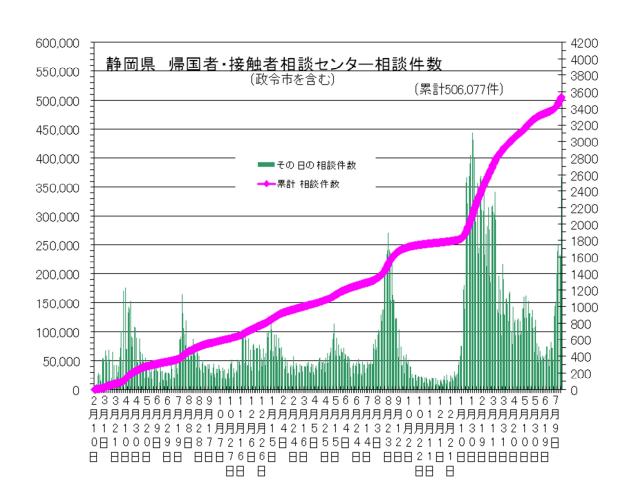
													2022-	·			
年齢階級区分	O歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					0.03	0.57	0.63	0.40	0.07	0.07	0.07	0.10					1.93
性器ヘルペスウイルス感染症						0.03	0.03	0.17	0.13		0.10	0.10	0.03	0.03		0.03	0.67
尖圭コンジローマ						0.10	0.10		0.03	0.03							0.27
淋菌感染症						0.10	0.13	0.03		0.07		0.03					0.37
性器クラミジア感染症(男)						0.10	0.17	0.23		0.03							0.53
性器クラミジア感染症(女)					0.03	0.47	0.47	0.17	0.07	0.03	0.07	0.10					1.40
性暑ヘルペスウイルス感染症(男)							0.03	0.07	0.07		0.07						0.23
性暑ヘルペスウイルス感染症(女)						0.03		0.10	0.07		0.03	0.10	0.03	0.03		0.03	0.43
尖圭コンジローマ(男)						0.03	0.03										0.07
尖圭コンジローマ(女)						0.07	0.07		0.03	0.03							0.20
淋菌感染症(男)						0.03	0.10	0.03		0.07		0.03					0.27
淋菌感染症(女)						0.07	0.03										0.10
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌療染症			0.10			0.10					0.10				0.20	1.30	1.80
薬剤耐性器臓菌感染症																	





新型コロナウイルスに関するPCR検査状況等(令和4年7月20日時点)

項目	PCR·抗原検査 実施者数	1週間の 検査実施者数	PCR•抗原検査 陽性者数	1週間の 陽性者数	1週間の 検査陽性率
7月14日 水	5,220		2,250		
7月15日 木	5,563		2,239		
7月16日 金	3,318		2,712		
7月17日 土	2,052	33,059	2,409	16,214	49.0%
7月18日 日	2,221		1,464		
7月19日 月	9,841		1,416		
7月20日 火	4,844		3,724		

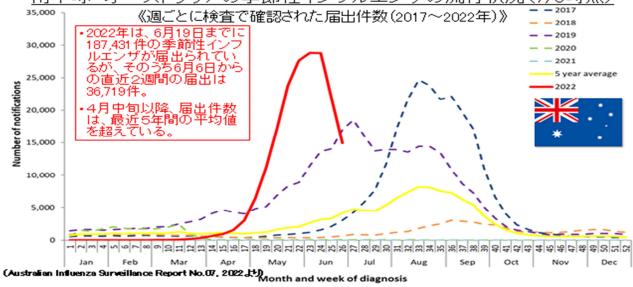


南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(7/3時点)

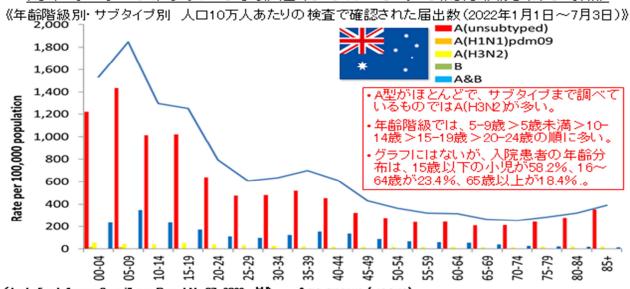
("Australian Influenza Surveillance Report No.07, 2022" ()Key Messages)

活動性	 今年のコミュニティでのインフルエンザ様疾患(LLI)の活動は、2022年5月と6月にピークに達した。 2022年のこれまでに、オーストラリア届出疾患サーベイランスシステム(NNDSS)に187/431件が 届出されており、そのうち36,719件の届出は6月20日から7月3日の2週間に診断された。 2022年4月中旬から、オーストラリアで報告された検査で確認されたインフルエンザの週ごとの届出数は、5年間の平均を超えている。
重症度	 今年初め以来、検査で確認されたインフルエンザ 187,431件の届出のうち、113件のインフルエンザ 関連の死亡が届出された。 2022年4月の季節的サーベイランスの開始以来、インフルエンザ による入院は視病院全体で1,323件報告されており、そのうち65%が ICUIこ直接入院した。
影響	• 現時点では、2022年 <u>インフルエンザシーズンが社会に与える潜在的な影響の兆候はない</u> 。
リスク集団	2022年の現在までは、 <u>5~9歳、5歳未満そして10~19歳が最も高い届出率</u> を示している。
ウイルス 学	 現在までに、NNDSSに報告された検査で確認されたインフルエンザの届出の82.8%がインフルエンザAであり、そのうち94.6%がインフルエンザA(サブタイプ検査なし)、0.8%がインフルエンザA(H3N2)。インフルエンザBは届出の0.1%を占め、0.1%未満はAとBの重複感染であり、17.2%は型が分類されていない。
ワクチンと の一致と 有効性	 これまでにWHO協力センターに照会された1,196検体のうち、インフルエンザA(H1N1)の99.0%、インフルエンザA(H3N2)の96.0%、およびインフルエンザB/ピクトリアは、対応するワクチン成分と抗原的に類似の特徴があった。 今シーズンのワクチンの適合性と有効性を評価するには時期尚早である。

南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(7/3時点)



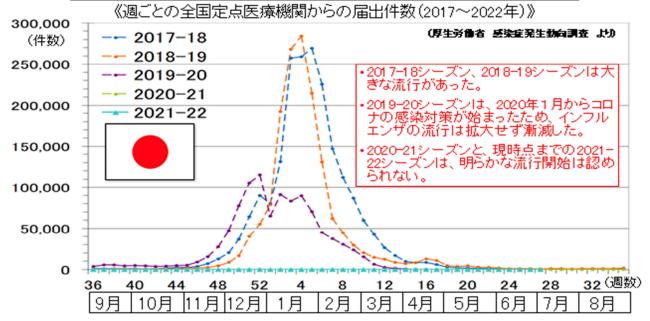
南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(7/3時点)



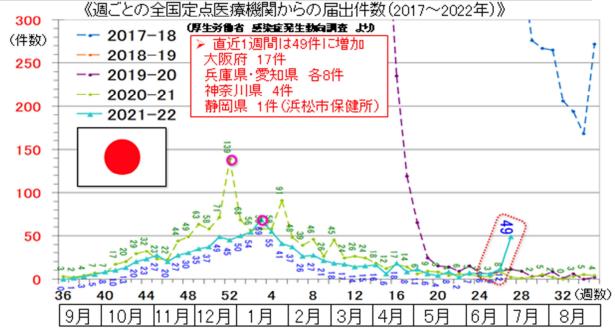
(Australian Influenza Surveillance Report No.07. 2022 上) Age group (years)
URL: https://www1.health.gov.au/internet/main/publishing.nsf/Content/cda-surveil-ozflu

-flucurr.htm/\$File/w.flu-07-2022.docx

日本の季節性インフルエンザの流行状況(7/10 第27週時点)



日本の季節性インフルエンザの流行状況(7/10時点) 【1,000倍拡大】



- ・オーストラリアで季節性インフルエンザの急増が見られており、今冬は国内でも 2019-20年シーズン以来3年ぶりに、インフルエンザが大流行する可能性が極めて高くなると思われます。
- ・2017-18年シーズン以上の過去に例のない超大型流行になる可能性もあり、特に小児の患者が爆発的に増えることが心配されます。
- ・例年の流行開始は11月頃ですが、今シーズンはもっと早くなる可能性もあります。
- ・インフルエンザワクチンの接種が開始されたら、小児や高齢者を中心にいつも以上 にできるだけ早く接種してください。
- ・インフルエンザの感染対策は、新型コロナ対策と全く同じ(マスク着用、手洗い、 密を避ける)で大丈夫です。